

CFDアウトソーシングの薦め

— ファーム・フローがお手伝いします

CFD(数値流体解析)ってなに？

気体や液体の流れに伴う熱や圧力の変動を、実験を行なうのではなく、コンピュータで計算して求めることを数値流体解析といいます。これによって、実験回数を減らし、コストや開発期間を減らすことができます。

また、実験でできないこと(炉内の燃焼、微細な空間の現象など)もシミュレーションを行なうことによって、より良い製品設計につなげることができます。

CFDにかかるコスト

流体解析を行なうには、そのためのソフトウェアが必要です。これにはいろいろな種類がありますが、一般にレンタルでも1ライセンスあたり、年間100万円～数百万円の価格がかかります。ある程度の規模の計算を行なうためには並列化も必要であり、実際にはその何倍かの費用が必要になります。

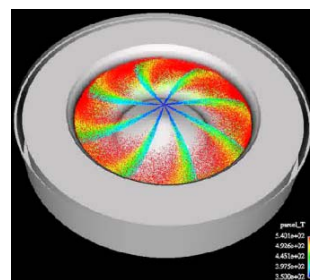
既にCFDを行なっている会社は良いのですが、これから始めようという場合は、CFDができるエンジニアを確保し、育成する期間が必要になります。個人差がありますが、数年単位の時間がかかります。

成果が出てくればCFDは極めて効果的ですが、すぐに結果を求めるのは難しいのが現状です。

CFDアウトソーシング(委託解析)の薦め

社内で発生するCFDのニーズをすべて外部の会社に委託して結果を得る方法が考えられます。適価で委託できれば、結果がすぐに得られてコストも抑えることができます。

また、既にCFDを行なっている会社も、業務の一部を外部委託することで、コストダウンにつなげられる場合があります。



ディーゼルスプレーの解析
(OpenCFD社のサイトより)

ファーム・フローにご相談ください

ファーム・フローは電気通信大学・清華大学の出身者を中心とする流体技術の専門家集団です。

原則として、OpenFOAMという高機能なオープンソース・CFDツールを使用します。ライセンス料がかからないため、比較的低価格で受託解析を行なうことが可能です。

OpenFOAMはハイエンドの機能を備えていますが、市販のソフトウェアに比べると、使い方が難しく、習得には時間がかかります。OpenFOAMを実際に使いたいとお考えの場合は、インストール、トレーニング、技術サポート、カスタマイズなどのご相談にも対応します。

株式会社ファーム・フロー

東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学西11号館5F (〒182-8585)

電話：042-444-3679/FAX：042-444-3680/E-mail：sales@firmflow.jp